

木馬会会報 (第63号)

* ジャパンカップ特集 *



96/11/21

～木馬達の予想～

本誌 栄蔵の一番弟子 TP

ジャパンカップ

◎…セイントリー ○…シングスピール
▲…バブルガムフェロー △…エリシオ ペンタイア

～たかPの屁理屈～

毎年毎年、私のジャパンカップ予想を心待ちにしている全国1万3千人の方々、今年はまことに申し訳ない。出走予定馬の臍げな情報しか得ていない上での予想なので、あまり当てにしないでくれ給え。

まず、3度目になるが、極意を書いておく。これは非常に実績のある極意なので、当日の馬券検討の参考にしてくれたまえ。

オセアニアの馬…ローテーション、使われた距離は気にするな。馬の実力を見極めろ。

欧州の馬…肩書きを気にするな。早い馬場への適正だけで判断しろ。

北・南米の馬…日本の馬に対するのと同じ研究で良い。

日本の馬…本当に強く、距離適性のある、勝負根性抜群の馬しかこない。フロックは絶対ない。

レース展開…どんなペースになろうとも(通常はHペース)、展開のあやはない。逃げ、追い込みしかできない馬は絶対に来ない。

今週予想しなくてはならないので、個々の分析はできない。今年の世界の趨勢から予想してみようと思う。まず、北米の馬だが、ブリダーズカップターフで欧州の馬が上位を独占したように、今年は核となる馬がいらない。ぱっと名前を見てみても、ほとんど知らないの、コンスタントに活躍している馬もないようだ。欧州の馬は、それぞれの過去の成績がわからないので、早い馬場への適性については何ともいえない。オセアニア地区は、コックスプレートで現役4強といわれる馬が対戦して、それに勝った馬が出てくるので、例年レベルは維持していると思う。ということで、招待馬はここ数年来の低レベルと評価する。

以上から無理矢理考察させてもらおうと、以下のようなになる。回避馬とかでたら、この順で上につめて、印をうってください。

◎セイントリー…他地区の招待馬のレベルの低さから、例年レベルの馬を送ってきたオセアニア地区から、現在のオセアニア最強馬であるこの馬を本命に推す。ナチュラルズム、シャフツベリーアベニュー級。

○シングスピール…ブリダーズカップ2着。ただ、今年のブリダーズカップは時計が掛かっており、参考になるかどうかは不明。脚質は自在だし、世界を牛耳るモハメド殿下の持ち馬。きちんとJCに照準を合わせているはず。

▲バブルガムフェロー…4歳馬は、あのルドルフ、オグリキャップでさえ3着がやっとだったので、不利であることは間違いないのだが、今年の招待馬のレベルの低さ、日本の競馬レベルの向上、この馬の勝負根性を鑑みて対抗に押す。

△エリシオ…凱旋門賞を逃げて圧勝。タイムの2:29秒台は早い馬場適性には微妙な所。別に逃げなくてもレースはできるし、日本を良く知っているペリエ騎乗はプラス材料。ただし、凱旋門賞馬がまるで走らない過去のデータは気になる。

ペンタイア…だいたい日本で種牡馬入りが決まっている馬は走らない。

トゥインクルダンディの予想

ジャパンカップ

◎エリシオ ○ダンスパートナー ▲ファビラスラフィン

△ゴーゴーゼット、サクラケイザンオー、バブルガムフェロー、ペンタイア

毎年思うことだが、ジャパンカップだけは全く当る気がしない。今年も例年通りである。凱旋門賞を買ったからといって強いのかどうか、日本の硬い馬場にあうのかどうか…外国馬を考えたって実際に見てないんじゃないしょうもない。日本馬にしたって、天皇賞を勝ったからといってジャパンカップでもとは思いつらいし…

という訳で、実際の馬券は本誌復帰のTP氏を参考にするとして、予想は情報誌からの情報と勘を頼りに行う。

本命は、日本の馬場にあうかどうかかわからないし、ジャパンカップにも出走するかどうか迷っていたことを考えるとちょっと不安だが、関係者の強気の発言を信じてエリシオ。強力な逃げ馬不在の今回、同馬にとってはとても楽な展開に持込めそうだし、関西でとはいえ日本競馬を身をもって知っているペリエ騎乗、勝つ条件は揃ったはず。

対抗は迷ったが、ダンスパートナー。エリザベス女王杯の僅差優勝をみると強力牡馬に混じったGIでは厳しい気もするが、父サンデーサイレンス、オークス優勝で分かる得意の左回り東京コース、宝塚3着等の実績を考えれば可能性がない訳でもない。下手な四位騎乗も心配だが、皐月賞で降着にならなかったこと等を考えれば今年の四位にはツキもあるはず。

ちょっと狙ってみたいのがファビラスラフィン。これまた下手な松永幹騎乗だが、昨年オークスでの騎乗を見る限り東京はそこそこうまくさうだし、軽量53kg、東京とはいえ逃げ馬は基本的にエリシオのみ、前残り競馬を信じて伏兵ファビラスに票を投じるのも悪くはない。

人気になりそうなバブルガムフェローは、3歳時の楽勝と違い秋2戦激走の反動が心配。ペンタイアも果して前走の大敗が道悪のためかどうか…それならば叩き3走目の一発屋ゴーゴーゼット、能力高いへな氏推奨のサクラケイザンオーを狙ったほうが配当的に面白い。

こだわりの“へな”

ジャパンカップ

◎…シングスピール ○…サクラケイザンオー

▲…アウッド エリシオ △…バブルガムフェロー

…“へな”の理屈…

国際GIジャパンカップ。毎年、世界の強豪馬を日本で見ることは本当にうれしいことだが、

それと同時に世界の超一流ジョッキーの手綱捌きを見れるのも私にとってはとてもうれしいことである。今年もCマッキヤロン、Lデットーリ、Oペリエなど素晴らしいジョッキーが集まっており、岡部、横典、河内らの日本代表ジョッキーとの対決が本当に楽しみである。今回のJCは、幸いな事に上記のジョッキーがそれぞれ有力と思われる馬に騎乗するので、ジョッキーを重視して上のような予想になった。なかでも面白いと思うのはサクラケイザンオー。またかと言われそうだが、菊のあわやの4着からも相当な能力の持ち主だということは明らか。掲示板に載った5頭のうち1〜3着と5着の4頭はすべて差し（追い込み）が来ている中で、先行してきわどく残ったという内容も充分評価できる。来年のG1レースでは常に必ず人気を集めるようになる馬だと思うので、無謀だと言われても今回も重い印を打つ。

今回もワンパターンです。

メニーフレンド

冗談で言っていたのに、吉田一族が率いる社台ファーム（およびRH）が、秋のG1を5連勝してしまった。吉田照哉の高笑いが聞こえてきそうである（ところで、つい先ほどみたNHKのラムタラ特集で久しぶりに顔を拝見したが歳をとっていたのには、びっくりした）。それにしても、我が愛するジェニュインがついに皐月賞以来のG1を制覇した。これで痛感したには、いくら馬の血統がよく、また素質があっても、その成長のためには良いスタッフと環境が必要であるということである（その悪例が、古馬でダメになったブライアンであり心配なのがラムタラである）。その点で、ジェニュインをここまで仕上げた社台のスタッフには敬意を表したい。ところで、「TP氏」へ。リターンマッチを私は受けて立てあげてもよい。その代わりに、今度の条件は「ジェニュインが、宝塚記念までに、連にからむかどうか」です。TP氏の予想家の意地に期待すると共に他の参加者の挑戦をお待ちしています。

ところで、JPカップですが、やはり①社台4頭出し（やる気が見える）、②英国3頭出し③実績④ローテーション、からいって吉田照哉氏のペンタイヤを本命にします。かのホーリックス以来、ゲンにいいレースなので、少し自信があります。

◎ペンタイヤ

○バブルガムフェロー

▲ダンスパートナー

△アウッド、エリシオ、セイントリー、ストテラジックチョイス

ラムタラの予想はそう!!

本命は◎シングスピール。ブリーダーズCからとローテ的には厳しいかもしれないが、輸送競馬に慣れているということで、大丈夫。過去、モハメド殿下の所有馬というのは、日本で好走した馬が多く、この馬も日本への適正を考えて送り込まれているはずで、好勝負をししてくれる。着外が2回だけと成績も安定しており、軸に推せる。

相手には○ダンスパートナー。中1週でのG1というのは苦しいとは思いますが、エリザベス女王

杯からJCというのは予定通りのローテーションであり、前走は直線だけのレースであり、回復も早かったということであるから、状態面に関しては問題無いだろう。これまでも牡馬の一線級と差のない競馬をしていたわけだし、フランスにも遠征している。この経験を生かすのはJCしかないだろう。

押さえには、▲バブルガムフェロー、△タイキフォーチュン。バブルは4才の身で天皇賞を勝ったわけだし、鞍上は岡部へ乗り替わり。天皇賞でいくら蛭名で勝ったとはいえ、JCならやはり岡部の方が心強い。日本の古馬（牡）のメンバーが不甲斐ないだけに、限りなく対抗に近い▲である。タイキはマイルCは強かったが、どうも成績にムラがあり△まで。

ところで、凱旋門賞馬エリシオだが、出走に至るまでに、回避だという情報も流れたり、初めての自国以外の競馬であるし、やはり凱旋門賞が最大の目標であり、どうもJCはおまけのような気がしてならない。新聞・雑誌にも本気で勝ちに来ているようなことは書いてあるが、過去の凱旋門賞馬も惨敗していることを考えると、勝たれたら仕方ないとして、無印とする。

読者投稿 ペンネーム「ふえら」

前回のマイルではミスターXと予想がダブってしまい当然の如く的中とはなりませんでした。残念。しかしジェニュインが勝ってくれ、今秋のG1は強い馬が勝つという僕の理論に添えてくれました。サンキユ、ジェニュイン。そうそうアルゼンチン共和国杯では懐かしのエルウェーウィンが来てくれました。馬券は買いそびれましたがとても嬉しかったです。ちなみに私は11月16日（土）府中競馬場にて初めて生で競馬というものを見させていただきました。本当に良かったです。

さて、今回のジャパンカップですが。迷わずきめました。バブルとエリシオこの2頭に決めました。セイントリーも来るかなとも思いましたが、ミスターXが高い評価を与えるという噂を聞いて切りました。今回はこの2馬で十分です。ローレルもトップガンもバブルには勝てないと思ったに違いありません。日本代表ではバブル以外の勝利は考えられません。歴史とはいつか誰かによって変えられます。流れが変わることによって時はうねりを持ち、時代を造り、歴史となっていくのです。凱旋門賞馬が勝てなかった時代は今年で終わります。歴史に名を刻むのはエリシオ。エリシオが新しい時代を造ります。が、しかし、歴史を塗りかえる奴は日本にもいます。バブルガムフェロー、天皇賞の歴史を変えた男。奴はルドルフもオグリも変えることのできなかったジャパンカップの歴史をも変える宿命を背負っているに違いない…。と思うのでござる。と言うことで、バブルとエリシオの同着1位で決まりでござる。いかがでしょうか先生方。ちなみにジャパンカップの日は、うちのばあちゃんの米寿なので枠で88も買わせて頂きます。ミスターXは買わないように。

◎バブルガムフェロー、エリシオ

予想はウソよ 四国の井崎

ファンの目は正しいというか、ジェニュインが1人気に見事に応えました。来年もG1馬で1人気になれば鉄板のマイルGSではないでしょうか。それにしても社台とSSの勢いはとどまるところを知らないようです。さあ、今週もまだ社台が続くのでしょうか？

「ふえら」さんからお誉めのお言葉をいただき光栄です。今後も出来る限り寄稿します。

ジャパンカップ

私は第1回のメアージドーツ、フロストキングから全て参加しています。8勝7敗で勝ち越しております。でも、日本馬はほとんど買わないので日本馬が来るときはまず当たりません。今回もやはり外国かぶれです。

今年はG1馬の勝ち馬が全て違っており、私は有馬記念までG12勝馬は出ないと信じています。したがってここを勝つのは外国馬でしょう。日本馬の2着はあるかも知れませんが。

このレースは何よりもTP氏の意見を重視することとしています。今回は幸運にも事前に予想を披露してくれているので参考になります。

◎…エリシオ ○…セイントリー

▲…シングスピール △…タイキフォーチュン、バブルガムフェロー

私はペリエ信者です。彼の騎乗技術の素晴らしさは何度も紹介しています。武君が今年最多勝を更新したのは、まさにペリエ様々なのです。正月ペリエに圧倒されて今の武があるのです。日本一と信じる武ですが、ペリエとはまだ1馬身程度差があると思います。菊もペリエならロイヤルが勝っていたでしょう。来年はペリエを見て福永君が成長することを期待しています。ということで馬よりも騎手で本命エリシオです。4歳馬で凱旋門賞を勝つなんてすごいですね。本来ならここは楽勝しなければいけないけれども、悲しいかなこれまでのJCでは欧州の超一流馬はほとんど全て馬群に消えています。今回もその恐れは大ですが、とにかくペリエ。お願いだから観衆よ騒がないで欲しい。人気の欧州馬を応援して負ける私のJC必敗パターンに見事にハマッています。

後はTP氏の予想通り。ただしバブルよりタイキを上に見ます。連対は別にして4才G1馬3頭の順位争いには興味をひかれます。ファビラスには先週出て欲しかった。

CBC賞

◎◎ フラワーパーク

△ ニホンピロスタディ、マサラッキ、ノーブルグラス、トーヨーロータス

勝負レースはこっちだヨーン。短距離はスピード指数で決着するから。

中京1200mは外枠断然有利。フラワーの相手は△馬を外枠に入った順に重視。

(今週の付録)

競馬アナリスト山路進氏は関西スポニチ水曜日に寄稿している。こういうコラムは関東より関西誌の方が非常に充実しており楽しい。

先週はダンスインザダークの引退に関して「無事名馬ならず」と書いていた。私がスピード競馬への危惧を述べていたが、それを定量的に証明してくれた。気がつけば簡単なことで、足への負担は速さの2乗できてくるというエネルギー法則そのものであった。米国では芝レースが衰退しダート主体になったのもスピードの限界に挑戦するような競馬を捨てたのではないかと思います。日本も芝重視の姿勢を見直さなければならないのではないのでしょうか？

さて今週は幸せ（ギャンブル感）について書かれていたので皆様を紹介します。

幸せ（経済的幸福）は財（欲望の対象）を分子とし、欲望を分母とする分子式で示される。分子を大きくすることによって幸せになろうとするのが西洋式だとすれば、欲望を抑えて（分母を小さくすること）幸せをつかもうとするのが東洋式・仏教式である、と。（スミセイ・エコノミックレビュー11月号、加藤三郎「仏教経済論と幸せの方程式」参照）

人それぞれの価値感によって幸せの感じ方が違う。しかし人間の欲望には限りがない。西洋式物質主義で欲望を膨らませると、どこまで行っても幸せがつかめない。仏教に「少数知足」ということばがあるそうだが、人間はどこかで欲望を抑えることが必要だろう。

競馬に戻るが、儲けることばかり考えていると必ずおかしくなる。誰でも1万円より10万円儲けるほうが気分がいいし、仲間にも自慢できる。じつは、それがギャンブルの落とし穴というものだ。

NY為替で大損を出した銀行マン、銅相場に失敗した商社マン。どちらも新聞紙上を賑わしたが、大きく儲けたい、そして昇進、幸せをつかみたいという功名心が得体の知れないブラックホールに吸い込まれた。JC15連敗の私は損を一度で取り戻そうとは思わない。競馬は儲けるものではなく楽しむもの…競馬30年の悟りである。

第16回 ジャパンカップ

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号	馬名
					ユウセンショウ	ペンタイア	フラッグダウン	ファビラスラフィン	ヒシナタリ	バブルガムフェロー	ダンスパートナー	タイキフォーチュン	セイントリー	ストラテジックチョイス	シングスピール	サクラケイザンオー	ゴーゴーゼット	カネツクロス	エリシオ	アウッド		
						△				▲			◎		○				△			TP
						△		▲		△	○					△	△		◎			トイックルデ
										△					◎	○			▲	▲		へなりん
						△				▲		△	◎			△			○			おけらくん
						△		△		○	△		▲			△			◎			ドロンジョ
						◎				○	▲		△	△					△	△		にーブルズ
						▲		△		△		△	◎		○					△		YO
										▲		▲	○		◎							心配御無用!
										△	○					▲			◎			ナリノラッキー
						◎							△	◎	△				△			ミスターX
					△					○		▲	◎						△			ラッキー
										▲	○	△			◎							ライスシャワー

TP	トイックルデ	へなりん	おけらくん	ドロンジョ	にーブルズ	YO	心配御無用!	ナリノラッキー	ミスターX	ラッキー	ライスシャワー
◎											
	○										
		○									
			○								
				○							
					○						
						○					
							○				
								○			
									○		
										○	
											○

○…～20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～

来週号から新婚森田さんが復帰しますので、今まで通り馬柱・原稿は森田さんをお願いします。